

事業報告書
(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人藤成会 加藤医院

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 愛知県名古屋市中区山田一丁目13番77号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成元年6月2日

(4) 設立登記年月日 平成元年6月13日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	加藤 忠	加藤医院管理者
理 事	加藤 浩二	
同	加藤 紀子	
同	加藤 彩	
同	加藤 翠	
監事	黒田 滋	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第47条第1項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第49条の4参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	該当なし		
診療所	加藤医院	名古屋市北区山田一丁目 13 番 77 号	
介護老人保健施設	該当なし		

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
該当なし		
該当なし		

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
該当なし		
該当なし		

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和4年 5月31日	令和3年度決算の決定、資産総額の変更 役員改選（理事1名新任）
令和4年 7月10日	X線TVシステム装置の買換について
令和4年10月10日	令和4年度上半期実績（中間決算）について
令和4年11月19日	看護師退職に伴う補充について
令和5年 1月19日	インボイス制度に係る対応について
令和5年 3月19日	5年度事業計画及び収支予算の決定について

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

該当なし

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

該当なし

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

該当なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし。

(9) その他

該当なし

様式 3 - 2

法人名 医療法人 藤成会 加藤医院
所在地 名古屋市北区山田一丁目13番77号

※医療法人整理番号 4109

貸 借 対 照 表
(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	95,533	I 流 動 負 債	78,999
II 固 定 資 産	25,322	II 固 定 負 債	
1 有 形 固 定 資 産	22,900		
2 無 形 固 定 資 産	171	負 債 合 計	78,999
3 そ の 他 の 資 産	2,250	純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
		I 出 資 金	35,000
		II 積 立 金	6,857
		利益準備金	4,000
		別途積立金	7,000
		繰越利益積立金	△ 4,143
		III 評価・換算差額等	
		純 資 産 合 計	41,856
資 産 合 計	120,855	負債・純資産合計	120,855

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 2

法人名 医療法人 藤成会 加藤医院
所在地 名古屋市北区山田一丁目13番77号

※医療法人整理番号 409

損 益 計 算 書
(自 令和4年 4 月 1 日 至 令和5年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	165,004
2 事業費用	145,820
本来業務事業利益	19,184
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	
事業利益	19,184
II 事業外収益	10,881
III 事業外費用	
経常利益	30,065
IV 特別利益	1,149
V 特別損失	
税引前当期純利益	31,215
法人税等	7,889
当期純利益	23,326

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式 2

法人名 医療法人 藤成会 加藤医院
所在地 名古屋市北区山田一丁目13番77号

※医療法人整理番号 409

財 産 目 録
(令和5年3月31日現在)

1. 資 産 額	120,855,635千円
2. 負 債 額	78,999,154千円
3. 純 資 産 額	41,856 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	95,533
B 固 定 資 産	25,322
C 資 産 合 計 (A + B)	120,855
D 負 債 合 計	78,999
E 純 資 産 (C - D)	41,856

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 ■賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

※医療法人監理番号

法人名 医療法人 藤成会 加藤医院

所在地 愛知県名古屋市長区山田一丁目13番77号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	加藤 忠	医師	当法人理事長 資金の貸借	貸借料の支払い	5,530	貸借料	
役員	加藤 浩二	医師	当法人理事 資金の貸借	貸借料の支払い	1,470	貸借料	
役員	加藤 忠	医師	当法人理事長 資金の貸借	資金の借り入れ		短期借入金	32,870
役員	加藤 浩二	医師	当法人理事 資金の貸借	資金の借り入れ		短期借入金	21,956

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

利息は無利息で、双方協議のうえ決定している。加藤忠には毎月200,000円、加藤浩二には毎月200,000円を返済している。

医療法人藤成会

理事長 加藤 忠 殿

私（注１）は、医療法人藤成会の令和４年度会計年度（令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注２）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和５年５月２２日

医療法人 藤成会 加藤医院

監事 黒田 滋

（注１）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注２）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。